

..... 編集後記

◆筑波では雪がちらつきました。こぶしの白い花が咲き始めました。みなさんの所はどうですか。

先日、今年の地質情報展の打ち合わせで、名古屋にいつてきました。美濃帯の付加帯のチャート、木曾三川の砂の採取も実施しました。付加帯の地層を見て地質屋の私には説明が理解できたのですが、一般の人に分かってもらえるか不安になりました。私の友人の安達博士が発見した上麻生礫岩も見に行きましたが、立派な石材でできた案内板に中世代とあり、立派な博物館もできているけれども、地質学の普及は今一歩の感じでした。

◆地質調査所では今年色々な普及活動を展開しました。評価はいろいろだと思いますが、今月号は、その顛末記を中心に特集しました。地質学の普及には各地域での草の根的な活動が必要でしょう。参考になれば幸いです。また、お役にたてることがあればご相談下さい。旅費がたくさんあり、研究者が時間がとれば各地でこのような機会をたくさん作りたいのですが、現実的には思うようにいきません。

今年の地方地質情報展は名古屋で、来年は松江で行います。多くの人達にお目にかかれることを楽しみにしております。

◆私事です。長い間お世話になりましたが、地質調査所の組織改編で編集者を交代することになりました。地質ニュースをやさしいものにしたと考えてきましたが、やはり難しく志半ばでおわりました。

地質が社会と遊離している現状においては、地質情報の重要性を宣伝するためには地質ニュースの存在は重要でしょう。今後は、産官学連携推進センター長の湯浅氏が担当いたしますので、ご協力のほどよろしく願いいたします。

◆「旅に病んで 夢は枯野を 駆け巡る」芭蕉の辞世の句だそうですが、彼は終わるとき何を考えたのでしょうか。また、「老兵は死なず、ただ消え去るのみ」という言葉もあります。

読者の皆様の今後の活躍をお祈りします。

さようなら。

(有田正史)

地質ニュース編集委員会

委員長：有田正史

副委員長：石井武政

委員：佐藤興平・今井 登・村上文敏・大熊茂雄

顧問：林 暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋 博

事務局：総務部業務課広報係（谷田部信郎・吉田朋弘）

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-3

地質調査所 地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3504

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

地質ニュース	第535号	1999年	3月号
	定価¥785 (本体価格¥748)	〒実費	
1999年3月1日 発行	編集	工業技術院地質調査所	
	発行人	株式会社 実業公報社	
	発行所	代表者 林 光生	
	印刷	株式会社 実業公報社	
		東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073	
		Tel. (03) 3265-0951 (代表)	
		Fax. (03) 3265-0952	
		振替口座 00110-6-32466	
		麹町局私書箱第21号	
		株式会社 エアフォルク	

©1999 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターおよびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。